

工業簿記 費目別計算

パターン I 【仕訳問題①】

下記の一連の取引について仕訳しなさい。

①当月、素材 1,000 kg（購入代価 2,200 円/kg）、買入部品 2,800 個（購入代価 100 円/個）、工場消耗品 150,000 円（購入代価）を掛けて購入した。なお、購入に際しては、購入代価の 10%を材料副費として予定配賦している。

（仕 訳）

--	--	--	--

②当月、素材 1,800,000 円、買入部品 150,000 円、工場消耗品 100,000 円を消費した。

（仕 訳）

--	--	--	--

③当月の賃金の消費額を計上する。直接工の作業時間報告書によれば、直接作業時間は 800 時間、間接作業時間は 60 時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は、1 時間当たり 1,250 円である。また、間接工については、前月賃金未払高 100,000 円、当月賃金支払高 460,000 円、当月賃金未払高 140,000 円であった。

（仕 訳）

--	--	--	--

④ 予定賃率に基づく消費賃金と実際消費賃金との差異を賃率差異勘定に振り替える。なお、直接工については、前月賃金未払高 80,000 円、当月賃金支払高 1,100,000 円、当月賃金未払高 120,000 円であった。

(仕 訳)

--	--	--	--

⑤ 当月の直接作業時間にもとづき予定配賦率を適用して、製造間接費を各製造指図書に配賦する。なお、当工場の年間の固定製造間接費予算は 9,000,000 円、年間の変動製造間接費予算は 6,000,000 円であり、年間の予定総直接作業時間は 10,000 時間である。

(仕 訳)

--	--	--	--